

介護職員等特定処遇改善加算にかかる情報公開【見える化要件】

株式会社プロケアしなみでは介護職員等に対して給与の底上げをする為に設けられた制度である介護職員等特定処遇改善加算を取得し、介護職員等の賃金改善に努めています。

介護職員等特定処遇改善加算の算定要件として下記の要件を満たしている必要があります。

- ・ 処遇改善加算(Ⅰ)から(Ⅲ)までのいずれかを届出を行っていること。
- ・ 複数の取組を行い、「入職促進に向けた取組」、「資質の向上やキャリアアップに向けた支援」、「両立支援・多様な働き方の推進」、「腰痛を含む心身の健康管理」、「生産性向上のための業務改善の取組」、「やりがい・働きがいの醸成」について、それぞれ1つ以上(令和3年度は、6つの区分から3つの区分を選択し、選択した区分でそれぞれ1つ以上)の取組を行うこと。
- ・ 特定加算に基づく取組について、ホームページへの掲載等により公表していること。

区分	内容
入職促進に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化 「みんな笑顔で安心に」の経営理念のもと、利用者様の自立支援を支える統一したケアと他事業所でも活躍できる人材を育成する方針です。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築 全職員を時給制正社員と位置づけ、経験、資格に合った職種、就業場所に配属しています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施 地域内学校からの職業体験の受入れおよび町内運動会などへの参加(コロナ禍前)
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等 法定研修等の社内研修や外部研修を受講できる機会を積極的に設けています。実務者研修、喀痰吸引研修を、社内研修できる体制となっています。何れの研修費用も会社負担で勤務時間扱いとしています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会の確保 保有資格に応じたキャリア面談を随時実施。 本人希望の資格取得に関しては専門学校の紹介、テキスト購入などの支援を行なっています。
両立支援・多様な働き方の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備 各種休業制度を整備しており、また子連れ出勤が可能な体制を整備しています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備 全職員を正社員としていて、勤務時間によりフルタイム正社員か短時間正社員のどちらかに分類されます。 希望があれば派遣職員から直接雇用への転換も可能な体制を整備しています。
腰痛を含む心身の健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施 先輩職員による介護技術研修開催や入浴用シャワーストレッチャーを導入し介護者の負担軽減を行なっています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施 短時間勤務者もフルタイム正社員と同様に最低年1回の健康診断受診(夜勤対応者は年2回の健康診断)。 また各施設に休憩室を設置しています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備 整備しています。
生産性向上のための業務改善の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減 iPadやスマートフォンを活用し、利用者様視点のグループウェア「メルタス」に記録しています。 見守り支援システム「眠りSCAN」を導入し、業務量を縮減しています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の活躍(居室やフロア等の掃除、食事の配膳・下膳などのほか、経理や労務、広報なども含めた介護業務以外の業務の提供)等による役割分担の明確化 高齢者や障害がある方には適性に合った職務(調理や清掃)に就いていただいています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減 グループウェアで利用者様の情報を、全職員(介護職員、看護職員、ケアマネ、事務職員等)で共有しています。 また必要に応じて外部の医療機関、薬局、居宅介護事業所と情報共有を行っています。 訪問業務についてはサービス手順書を作成し業務の統一化を図っています。
やりがい・働きがいの醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善 ミーティングや申し送りの内容や勤務環境やケア内容の気づきをグループウェアで共有しています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供 認知症介護実践者研修などの研修終了者を中心にして利用者本位のケア方針を話し合っています。 また介護保険制度や法人理念は社内研修を行い学ぶ機会を提供しています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供 好事例や謝意などは、そのことが発生した時点でグループウェアにて全職員に情報提供しています。